

ハイビジョンカメラおよび 超高感度テレビカメラによる日食観測

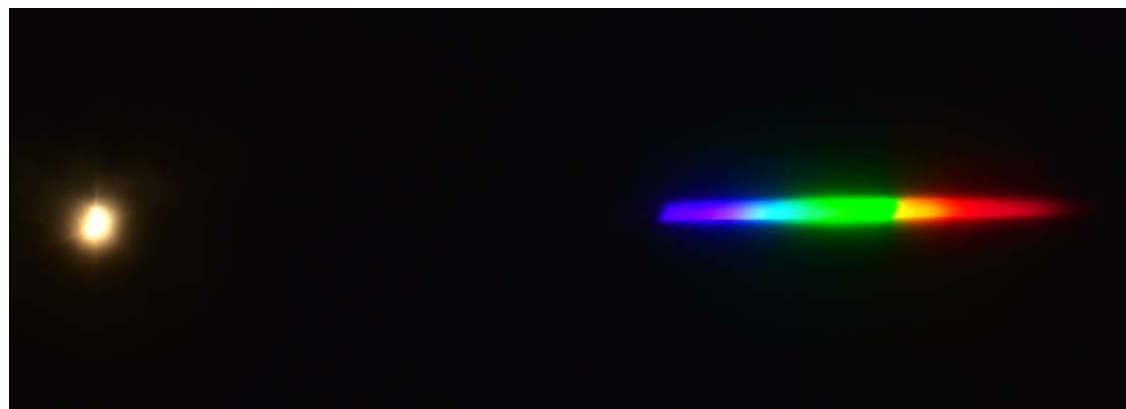
土佐 誠、大江宏典(仙台市天文台)
東原健介(五島光学研究所)、花岡庸一郎(国立天文台)

観測計画・目的

- ハイビジョン(HDTV)カメラによる皆既食・コロナの撮影。
- HDTVカメラ＋透過回折格子(600本/mm)によるフラッシュスペクトルの撮像(太陽表面のガス・彩層のスペクトルを観測)。
- HDTVカメラ＋魚眼レンズによる全天・シャドーコーンの撮影。
- 超高感度TVカメラ(GOTO NC-R550a)＋鉄輝線狭帯域($\text{Fe X } 6374 \text{ \AA}$)フィルターによるEコロナの撮影(コロナそのものを光で、コロナの構造を調べる)。
- アウトリーチ及び天文・地学教育の資料・教材として活用。
- 雲のため、目的を達成できなかった。



- 超高感度TVカメラ(GOTO NC-R550a) + 鉄輝線($\text{Fe X } 6374 \text{ \AA}$)狭帯域フィルタ(右上先端部分)
- 目的: Eコロナの観測



- HDTVカメラ(SONY HDR—X520) + 透過回折格子(600本/mm)によるスリットレススペクトル。皆既5分前: 左は0次の太陽像、右は一次像(スペクトル)。目的: フラッシュスペクトルの観測